

## 4. 呼吸器内科コース

第五内科部長	竹内 栄治 (指導責任者)	日本内科学会指導医・認定医 日本呼吸器学会指導医・専門医 日本呼吸器内視鏡学会指導医 ・気管支鏡専門医 日本がん治療認定医機構暫定教育医 日本臨床腫瘍学会暫定指導医 インфекションコントロールドクター (ICD)
第五内科副部長	田宮 弘之 (指導医)	日本内科学会認定内科認定医 日本呼吸器学会専門医
医師	飛梅 亮	

### 【一般目標：GIO】

呼吸器内科専門医として、十分な知識と技能を有し、広く社会に貢献できる医師を養成する。指導医とマンツーマン体制となるが、自ら考え自ら勉強できる医師になってもらうのが目標である。

### 【行動目標：SBOs】

- ・ 代表的な内科疾患について、質の高い総合的診療能力を身につける。
- ・ 内科診療における知識と技術を学ぶとともに、医師として必要な技術・能力を修得する。
- ・ 日本内科学会認定内科医を取得する。
- ・ 日本内科学会認定内科医の資格を取得したうえで、呼吸器内科（診療・検査・治療手術など）を行う。
- ・ 日本呼吸器学会専門医を取得する。
- ・ 長期目標として、日本内科学会専門医・日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医、がん治療認定医、がん薬物療法専門医、ICD等の取得のための準備期間とする。

### 【取得可能資格】

日本内科学会認定内科認定医  
日本内科学会認定内科専門医  
日本呼吸器学会呼吸器専門医  
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医  
日本臨床腫瘍学会認定がん薬物療法専門医

### 【経験目標症例等】

#### ①症例数

主要疾患名	症例数	経験目標症例数
細菌性肺炎	約 200 例/年	50 例/年
肺癌	約 70 例/年	20 例/年
気管支喘息	約 30 例/年	10 例/年
肺気腫	約 30 例/年	10 例/年
慢性呼吸不全	約 15 例/年	5 例/年
肺結核	約 30 例/年	10 例/年
非結核性抗酸菌症	約 10 例/年	3 例/年
気胸	約 15 例/年	5 例/年
間質性肺炎	約 15 例/年	5 例/年
ARDS	約 5 例/年	2 例/年
急性呼吸不全	約 30 例/年	20 例/年
慢性呼吸不全の急性増悪	約 20 例/年	10 例/年
気管支喘息重積発作	約 5 例/年	3 例/年

#### ②手技等

手術又は手技等	手技等件数	経験目標件数
気管支鏡検査	約 200 例/年	100 例/年
トロッカーカテーテル挿入	約 30 例/年	10 例/年

### 【その他特色】

- ・当院では、結核病床もあり、急性呼吸不全から肺結核まで呼吸器全般について研修が行える。部長は ICD、日本がん治療認定医機構前提教育医、日本臨床腫瘍学会暫定指導医であり、感染管理、臨床腫瘍学についても研修可能である。
- ・内科学会認定内科医、日本呼吸器学会専門医資格取得に必要な症例を経験するとともに、学会への出席を義務づける。